

■資料紹介（平成16年度テーマ展『「えみし」社会の誕生」公開）

中世下北半島北東部の骨角製回転式離頭鉾

女鹿 潤哉（主任専門学芸員）



写真1 東通村浜尻屋貝塚出土（東通村教育委員会蔵）

1 回転式離頭鉾とは

これらは、青森県下北半島北東部の太平洋に面する東通村浜尻屋貝塚から出土した回転式離頭鉾と呼ばれる狩猟具で、昨年度の当館テーマ展『「えみし」社会の誕生』に公開したものです。オットセイやアザラシなどの海獣類やマグロなどの大型の魚類を捕獲するために使用されました。ともに鹿角製で、下部がツバメの尾のように開き、右は先端に鉄の鎌が挿入されています。

また、2つの孔は、ともに縄紐を通すためのもので、下図のように、鉾頭の下部から内側をえぐった受口に中柄と呼ばれる接続部分の先端を差し込んで、柄に固定して獲物に投げつけます。獲物に突き刺さると、鉾頭だけがはずれて体内に残り、縄紐を引くと、鉾頭が回転してト状となり、抜けることなく容易に捕獲できるのです。

ともに14～15世紀頃に製作・使用されたとみられます。こうした形の鉾は同時期の北海道でも発見されており、形の上で近世北海道のアイヌがキテなどと呼ぶ鉾と基本的に異なるものではありません。従って、

北海道から出土したこの種の鉾は、中世の北海道アイヌが使用したと考えられます。

それでは、本州北東端の浜尻屋貝塚出土の鉾はどうでしょうか。14～15世紀の日本国では、鉾を始めとする狩猟具にはほとんど鉄製品が用いられています。この同時期に、こうした骨角器を用いた人々は、日本国を構成した人々の主体である和人とは、本質的に異なっていたと考えられます。

2 近世本州北辺のエゾ

近世、今日の北海道を始めとして樺太島南部、千島列島及びカムチャツカ半島南部などにはアイヌが居住し、日本国側からエゾなどと呼ばれていました。また、盛岡領の下北半島（田名部通）や弘前領の夏泊・津軽半島北部などの現在の青森県北辺にも、「狛」「狷」などに表記され、エゾと呼ばれた人々が点在したとされます。

盛岡藩家老席日誌『雑書』には、下北半島のエゾ男子の名として「はつひろたいぬ」「めいぼくわいぬ」などがみられ、津軽半島も含めて、語尾に「～アイン（又）」の音をもつものが知られます。これは、寛文9年(1669)に和人（松前藩）に対する民族的抵抗に立ち上がったアイヌの指導者シャクシャインなど、ほぼ同時期の北海道アイヌ男子の名と異なるものではありません。

こうした男子の名としての「～アイン（又）」の音は、中世アイヌにもみられるなど、アイヌ男子の民族的呼称であるとともに、人間を意味することば「アイヌ」に由来するとされます。従って、近世本州のエゾ男子もまた、「アイヌ」という呼称を共有した人々であったことがわかります。

また、弘前藩の公的な史書『津軽一統志』によれば、シャクシャインの戦いの際、松

前藩への援軍を派遣した弘前藩は、国もとの連絡役として、またその翌年には、幕府の内命をうけた同藩は、蝦夷地（松前藩域より北の北海道）の状況を調査する際の通訳として、それぞれ津軽のエゾを動員しています。つまり、これら本州エゾは、蝦夷地のアイヌのことばを理解できたのです。

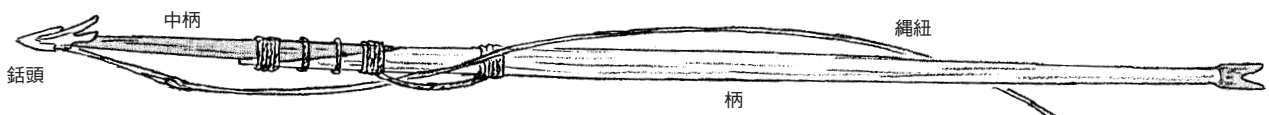
さらに、先に述べた盛岡藩の『雑書』や弘前藩の公記録である『弘前藩庁日記』などによれば、これら本州エゾは、それぞれ盛岡・弘前両藩主に対して、服属儀礼である御目見を行い、租税を免ぜられるなど、異民族としてのあつかいを受けていました。彼らはアイヌ語を理解し（本来の母語とし）ており、北海道などと同様、アイヌと呼び得る人々であったことは明らかです。

3 浜尻屋貝塚の回転式離頭鉾使用者

北海道を中心とするアイヌ社会は、その母胎となった擦文文化の社会が、中世日本の経済・文化の影響のもとで、生活様式や生業活動、社会構造が大きな変容を遂げる鎌倉時代（およそ13～14世紀）に成立したと考えられます。近世本州アイヌが住んだ青森県北辺は、歴史的にアイヌ文化へと連なる擦文文化と密接な関係にあったことが知られています。こうしたことから、アイヌ社会は、北海道とともに青森県北辺にも同時期に成立したと考えられます。

以上をふまえると、浜尻屋貝塚で回転式離頭鉾を使用したのは、中世の下北アイヌの人々に他ならないと考えられます。

小論には、平成16年度科学研究費補助金(奨励研究)「古代『えみし』社会の成立と後世アイヌへと連なるエトノスの初源についての研究」(課題番号16904017)、並びに同17年度同じく「下北アイヌ成立過程についての研究」(同じく17904015)によって実施した調査研究成果の一部が含まれています。



図版1 回転式離頭鉾の構造（『よみがえる北の中・近世 掘り出されたアイヌ文化』[財]アイヌ文化振興・研究推進機構、2001年）を一部改変）